

## 平成22年度目標管理シート

【選挙管理委員会事務局長 霜田 忠】

市の目標	市民満足度の向上			
部の目標	投票人の利便性と安全確保			
部の概要	人員	4人	予算規模	103,419千円

### 【具体的な取組】

NO	項目	具体的な内容	期待する効果	成果
1	投票人の利便性と安全確保を図ると共に、選挙啓発のありかたや、周知方法、投票率の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープの設置や自動ドアの設置を図る。</li> <li>・投票所入場整理券等の案内図の改善。</li> </ul>	投票人の利便性と安全確保に資する。	平成22年7月11日執行参議院議員選挙時より、期日前投票所にスロープや自動ドアを設置し、また投票所入場整理券等の案内図の改善を行うことで、投票人の利便性と安全確保を図った。
		若年層にも意識し、参加しやすく、選挙を理解してもらう入口としてHP等の媒体を有効活用する。	選挙啓発のありかた、周知方法、投票率向上につなげる。	効果的な選挙啓発のあり方、周知方法等の内容について研究した。
		開票作業の迅速化を目的に、機械化による効率的な運用を促進。	人件費の削減と開票時間の短縮を図る。	分類作業の機械化により、再点検の回数を2回から1回に減らすことができた。
		効率的な人事配置と専門研修・近隣市との実務研修を通じスキルアップを図る。	投票人への迅速な対応を図ることが出来る。	6市合同事務研究会（10回）や6市合同職員研修会を通じて、選挙事務担当者のスキルアップを図った。